

ボトラー各社の取り組み

北海道コカ・コーラボトリング

SDGs推進に向けて学校法人酪農学園と包括連携協定を締結

2021年7月、学校法人酪農学園と包括連携協定を締結しました。学園内のPETボトル回収とリサイクル処理によって「ボトルtoボトル(水平リサイクル)」による資源循環を目指しています。その他、災害発生時の備蓄水の確保や家畜用飲み水の提供、家畜用飼料としての茶かすの有効活用に向けた共同研究にも取り組むことで、地域が抱える課題やニーズに対応した持続可能な社会の実現に貢献しています。



フードバンク団体への製品寄贈

新型コロナウイルス感染拡大防止のため新しい生活様式が求められているなか、安心して暮らせる社会をサポートするために、2020年より地域の子ども食堂や生活困窮者支援団体などへ、北海道内のフードバンクを通じた製品寄贈を実施しています。2021年は道内のフードバンク10団体にコカ・コーラ社製品7,320本相当を寄贈しました。



みちのくコカ・コーラボトリング

廃棄製品の削減

自治体やNPOなどと協働し、廃棄製品の削減に向けた取り組みを推進しています。賞味期限が近づくなどして廃棄する可能性が高くなった製品を「フードロス対策自動販売機」で販売し、またフードバンクへ寄贈するなど、廃棄製品の削減に努めています。



「ヘラルボニーアートラッピング自動販売機」の展開を開始

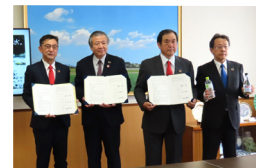
2021年11月、株式会社ヘラルボニーと協働して、「ヘラルボニーアートラッピング自動販売機」の第1号機を岩手県盛岡市の商業施設に設置しました。自動販売機にヘラルボニー社がライセンス契約を結ぶアーティストの作品をラッピングし、売り上げの一部を作品の使用料としてアーティストに還元します。これにより、アーティストの収入につなげるとともに、アートが地域を彩る環境をつくり出すことで、障がいに対するイメージを変えることにチャレンジします。



北陸コカ・コーラボトリング

SDGsに関する包括連携協定の締結

2021年4月、砺波市、南砺市のそれぞれと「SDGs包括連携協定」を締結しました。北陸コカ・コーラグループと両市は、それぞれが持つ資源を有効活用し、持続可能な社会の実現と、新たなビジネスチャンスを広げていきます。



富山県SDGs宣言(富山県)、 なんとSDGsパートナー(南砺市)の認定を受けました

2021年8月、富山県に「富山県SDGs宣言」を表明し、県内のSDGsの取り組みを推進していく企業として認定されました。続いて10月には南砺市のSDGsの取り組みに賛同し、北陸コカ・コーラの取り組みがゴール達成につながると認められ、「なんとSDGsパートナー」企業の認定を受けました。これにより、従業員の理解促進とモチベーションアップ、多様な人材の確保や新たな事業機会の創出を推進しています。



コカ・コーラ ボトラーズジャパン

「フードバンク団体」を通じた製品寄贈

2016年から認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパンや一般社団法人全国フードバンク推進協議会などと協働して、各地の子ども食堂や福祉施設などに製品寄贈を行ってきました。2021年は、販売エリア38都府県のうち20都府県の団体に、コカ・コーラ社製品を11,063ケース(262,382本)寄付しました。



沖縄コカ・コーラボトリング

「子ども・子育てゆいまーる基金」支援自販機の設置

2020年1月より本部町内に「子ども・子育てゆいまーる基金」支援自販機が設置され、7月には町役場でお披露目式が行われました。支援型自動販売機としては、自治体の「子育て基金条例」と協働は初の試みです。飲料1本あたり3円が基金に寄付され、幼稚園児の絵本購入など、子ども・子育てで支援に充てられます。

